

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 HAHAHA

1 事業の趣旨・目的

外国にルーツをもつ児童生徒に日本語及び教科を指導する上で必要な実践的知識の習得、かつ彼らのおかれている環境改善の際に必要な多文化ソーシャルワーカー的スキルの習得。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2009.7.12		櫻井千穂 佐々木千里 川上喜美恵 渡邊あづさ 菊池寛子	-研修のながれ -研修の目的 -研修のめざすところ - -	・この地域の現状把握 ・研修計画、中身確認 ・各講座のポイント ・研修を通して“つながる”大切さに気づいてもらう ・「アンケート」様式
2009.10.30		櫻井千穂 佐々木千里 川上喜美恵 渡邊あづさ 菊池寛子	-中間調整	・受講生の反応 ・研修後半のもっていきかた
2009.12.12		櫻井千穂 佐々木千里 川上喜美恵 渡邊あづさ 菊池寛子	-全体のふりかえり -今後の課題	・研修の目的が達成されたか。 ・今後の課題

3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 外国にルーツをもつ児童生徒のための日本語指導者養成講座
- (2) 養成講座の目標
- ①実践的知識の習得
 - ②連携していくことの大切さに気づく。
 - ③仲間を増やす。
- (3) 受講者の総数 72 人
- (4) 開催時間数(回数) 28 時間 (9 回)
- (5) 参加対象者の要件 教諭、日本語指導担当者、語学相談員、または興味がある方
- (6) 受講者の募集方法 西尾市の広報、西尾市近郊の各市教育委員会の後援を取り、各学校にチラシを配布、前年度まで巡回していた各学校の主な教諭に個人的に送付し、参加を促したほか、口コミによる。
- (※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)
- (7) 研修会場 西尾市青年の家
- (8) 使用した教材・リソース 各講師が準備

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
8月1日(土) 13:00～ 16:00	子どもの言語習得について	大阪大学大学院 博士課程 櫻井 千穂氏	26名
8月8日 13:00～ 16:00	実践的日本語・教科指導法	豊橋市教育委員会外国 人児童生徒教育相談員 五十嵐 恵美氏	39名
9月12日 13:00～ 16:00	スクールソーシャルワークの視点	社会福祉士、スクールソーシャルワーカー、スーパーバイザー 佐々木 千里氏	26名
9月26日 13:00～ 16:00	児童生徒の学びの環境について	大阪大学大学院 博士課程 櫻井 千穂氏	21名
10月3日 13:00～ 16:00	母語保持の重要性	大阪大学大学院 博士課程 櫻井 千穂氏	28名
10月24日 13:00～ 16:00	母語で先行学習する効果	お茶の水大学 清田 淳子氏	26名
11月7日 13:00～ 16:00	チャレンジワークのふりかえり	社会福祉士、スクールソーシャルワーカー、スーパーバイザー 佐々木 千里氏	16名
11月28日 13:00～ 16:00	面接技法	聖マリアンナ医科大学川崎市立多摩病院ソーシャルワーカー 鶴田 光子氏	17名
12月12日 13:00～ 17:00	多文化ソーシャルワーカーの視点を実践に生かすー困難な状況を乗り越えるために私たちができることー まとめ	豊橋市教育委員会外国 人児童生徒教育相談員 築樋 博子氏	18名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート(集計したものを添付)

添付したアンケート結果からもわかるように、各講座のポイントが受講生に伝わり、受講生たちも各回ほぼ満足して帰っていただけたようだ。

② 実施主体からの研修内容結果評価

9回、5ヶ月間に及ぶ研修であったにもかかわらず、講師の先生方が連携して、「つながる」ことの大切さを伝えながら、それぞれのメッセージを伝えることができる研修内容であった。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

後援承認してもらった各市教育委員会及び県教育委員会に、各講座資料を添えて研修結果を報告し、参加者名簿も提出し、受講生の存在をアピールした。受講生が各地域でキーパーソンとして活躍してもらうことを期待、後押しするためである。また、次年度はこの受講生たちにさらなるスキルアップしてもらうため、パネリストとして参加してもらいながら、研修をもり立ててもらう(引き続き文化庁日本語教育委託事業に申請済)。本年度の研修では基本に気づき、自ら課題を見つけるまで行ったが、来年度は、地域の社会福祉士、臨床心理士などともつながり、基本的なネットワークを確立する。また、母語の大切さに関しては、2010年3月28日(日)西尾市図書館で「多言語お披露目会&読みきかせ」を行うことにより、社会の評価を上げ、各家庭での母語保持の大切さについて考えてもらう。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

「日本語教室ボランティアスキルアップ研修」主催者だけでなく、受講者にも研修参加していただいたり、連携して行うことができた。本研修受講者に、西尾市教育委員会の外国人児童生徒担当者会議で学んだことを発表していただき、受講できなかった人たちとも共有することができた。

② 研修後の人材活用

キーパーソンとしてそれぞれの地域で活躍してもらう。それぞれの地域で活躍できるように、引き続き情報提供、活躍の場を提供、またサポートしていく。

(12) 今後の課題

外国にルーツをもつ児童生徒数が多い学校で、課題が山積みの学校からの参加

がなく、問題意識がまだ低いところに引き続き働きかける必要がある。来年度の研修では、モデル校として現状報告をしていただきながら、他校の様子を聞き、学んでもらう機会を提供する。この地域の学校や教師たちが参考にできるモデル校をつくる。